2026
山形県上山市

加勢鳥（かせどり）

1月11日

新湯温泉／湯町温泉
上山城／蔡甫庵

加勢鳥の楽しみ方

「稼ぎ鳥」が語源とされる加勢鳥は、五穀豊穣や商売繁盛を願う民俗行事として古くから親しまれています。

手ぬぐいやタオルを巻く

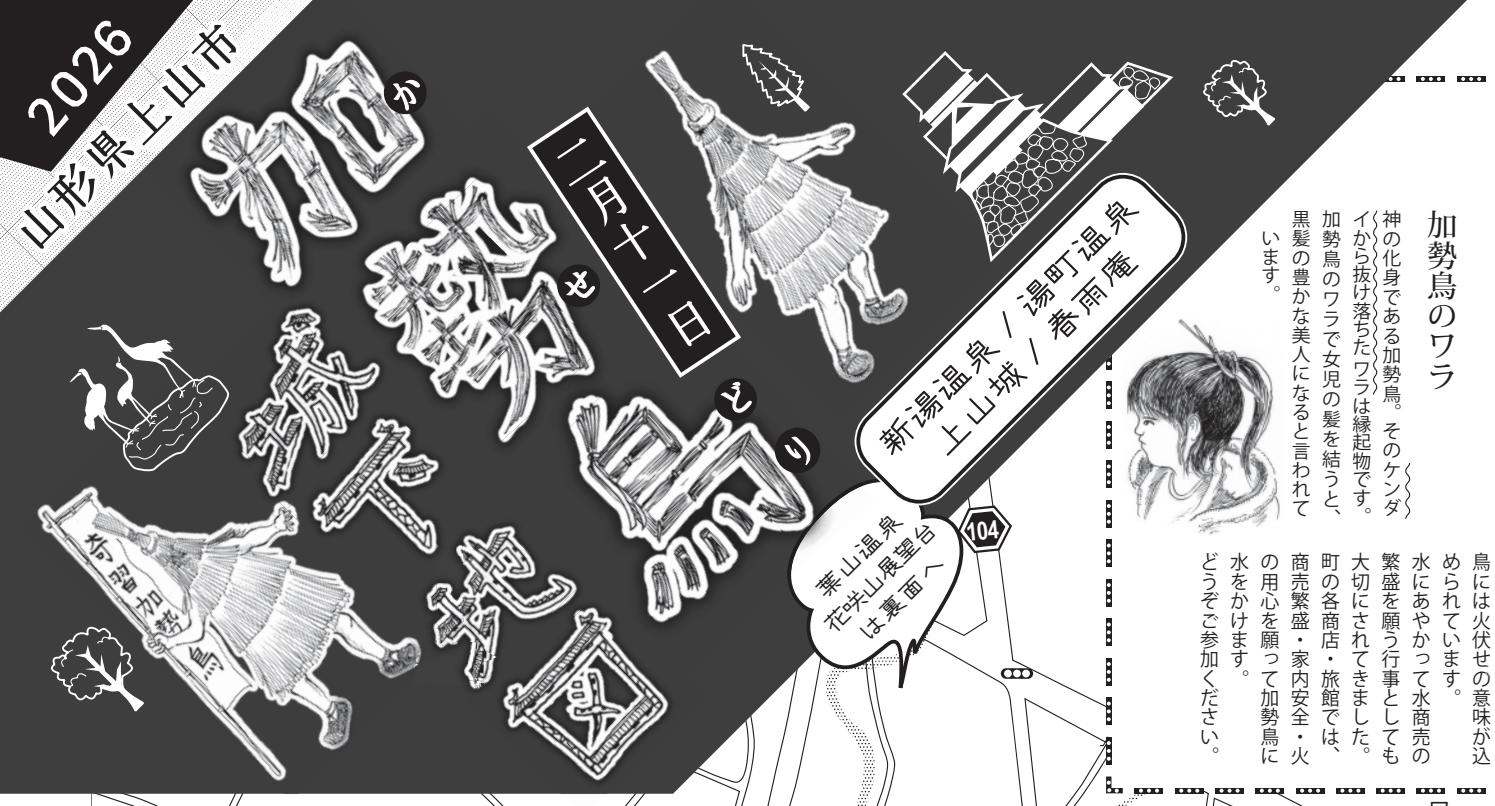
ケンダイ頭部に新しい手ぬぐいやタオルを巻いて、一年の「家内安全」「商売繁盛」「火の用心」「五穀豊穣」を願います。

加勢鳥のワラ

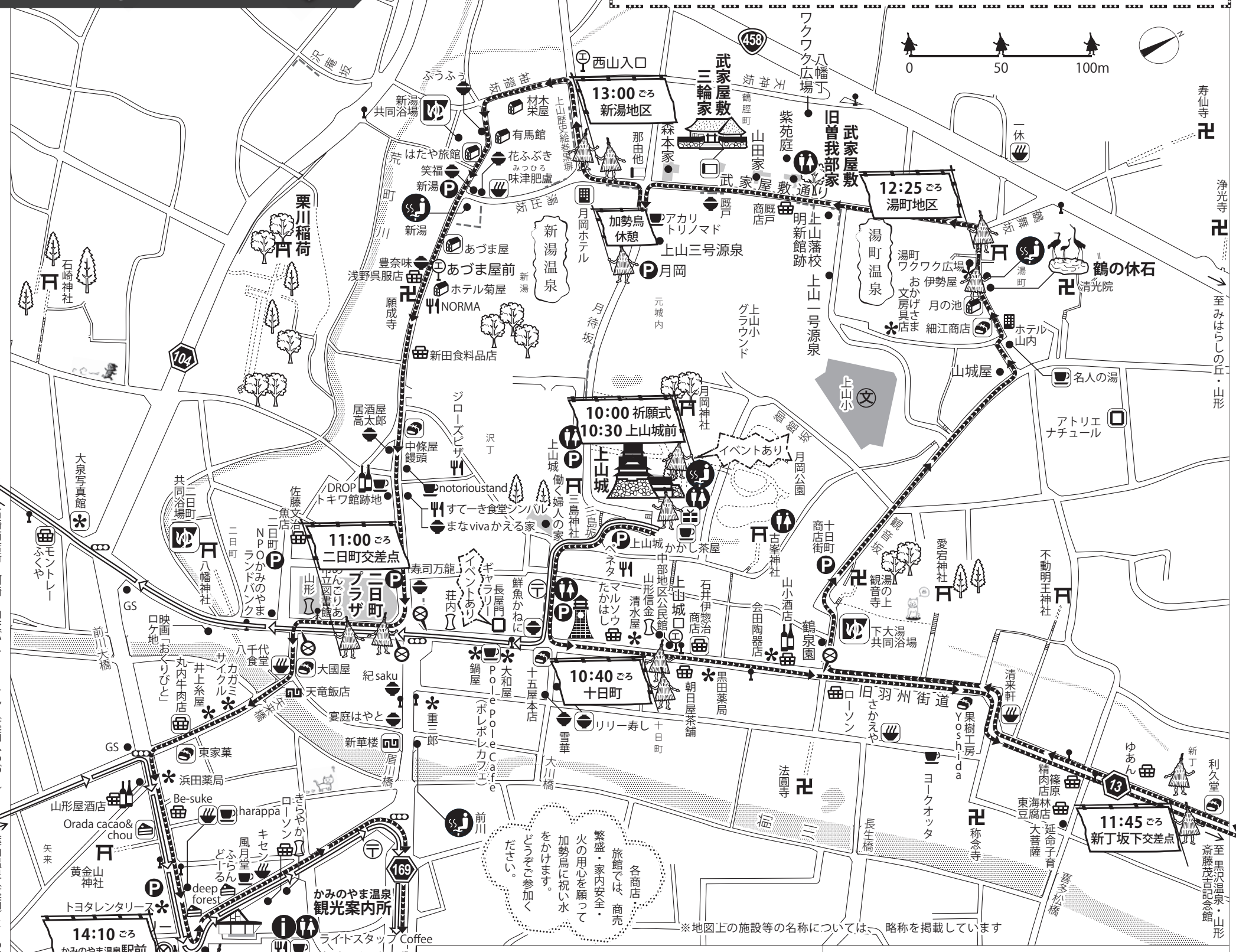
神の化身である加勢鳥。そのケンダイから抜け落ちたワラは縁起物です。加勢鳥のワラで女児の髪を結うと、黒髪の豊かな美人になると言われています。

祝い水をかける

江戸時代の大火の際、火喰い鳥が空を舞い類焼させたように見えたことから、鳥に水をかける加勢鳥には火伏せの意味が込められています。水にあやかって水商売の繁盛を願う行事としても大切にされてきました。町の各商店・旅館では、商売繁盛・家内安全・火の用心を願って加勢鳥に水をかけます。どうぞご参加ください。



蔡山温泉
花咲山展望台
は裏面へ



「加勢鳥」順路行程

※車での移動があります
※時間は前後します

A班順路

上山城・十日町商店街（南へ）・二日町プラザ前・石崎商店街・河崎・山交バスターミナル・高松、葉山温泉街・消防署・警察署・ヤマザワ・おーばん・その他適時

B班順路

上山城・十日町商店街（北へ）・新丁商店街・新丁坂下折り返し・下大湯共同浴場付近・湯町・武家屋敷通り・新湯温泉街・二日町・矢来・かみのやま温泉駅付近・ヨークベニマル・その他適時

10:30→11:30 車両通行止（十日町～二日町プラザ前）

凡例

加勢鳥順路
A班順路
B班順路
演舞ポイントとおおよその時刻
催し物
足湯
共同浴場
かみのやまワイン販売
旅館
ホテル
和食
洋食
中華
そば・ラーメン
カフェ等
和菓子
洋菓子
土産
美術・クラフト
歴史
食料品等
その他
案内所
トイレ
駐車場
銀行
グリーン／ホワイトエコー号バス停
黒板塀設置場所
城下町再生志士隊が城下町の景観づくりとして、黒板塀を設置する活動を行っています。

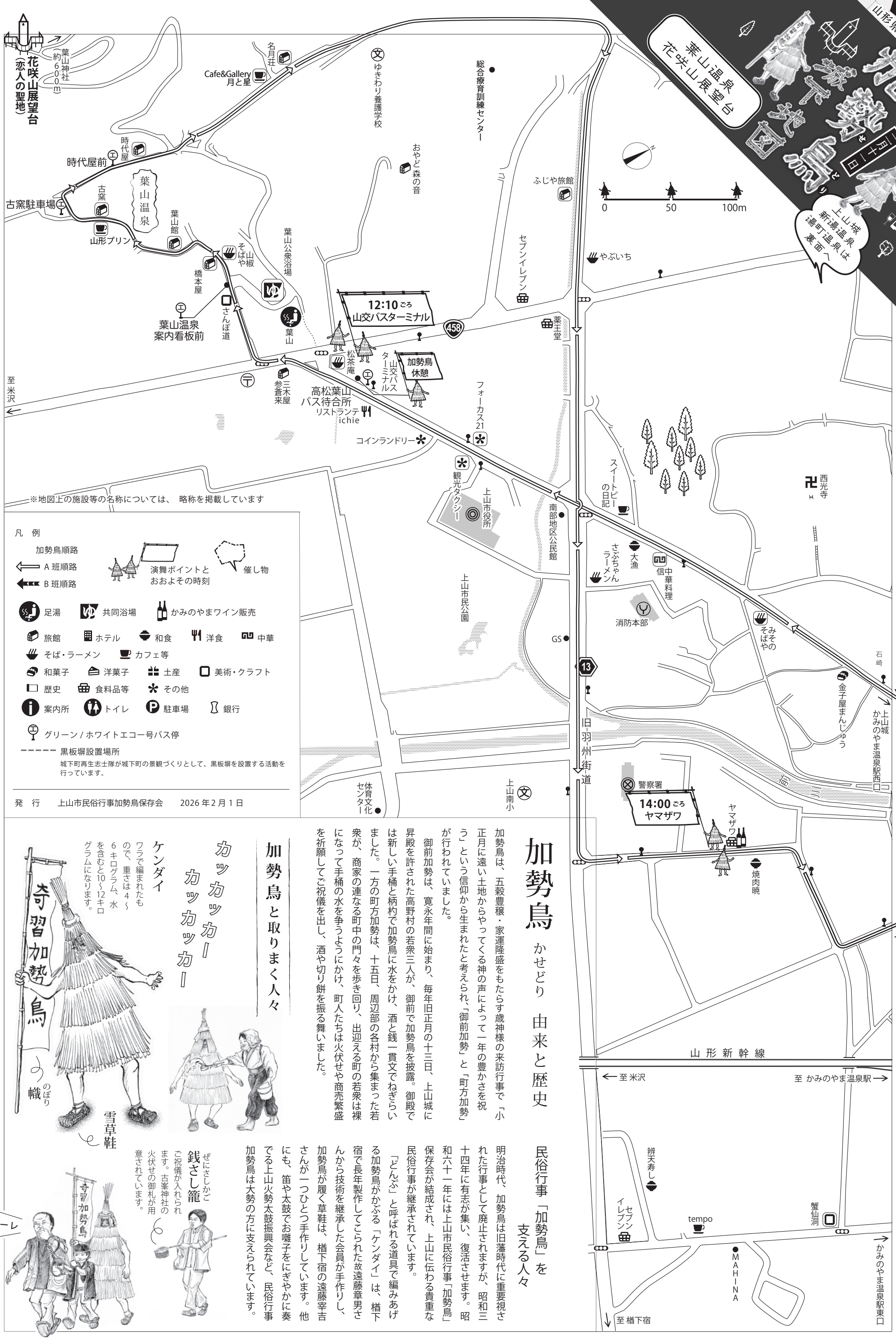
発行　上山市民俗行事加勢鳥保存会　2026年2月1日

Design: Akiko Kurachi　Illustration: Tomiyuki Kaneko

山形県上山市 2026

加勢鳥を下る 上山城と花笠

上山十日町



発行　上山市民俗行事加勢鳥保存会　2026年2月1日

加勢鳥 かせどり 由来と歴史

加勢鳥は、五穀豊穣・家運隆盛をもたらす歳神様の来訪行事で「小正月に遠い土地からやってくる神の声によって一年の豊かさを祝う」という信仰から生まれたと考えられ、「御前加勢」と「町方加勢」が行われていました。

御前加勢は、寛永年間に始まり、毎年旧正月の十三日、上山城に昇殿を許された高野村の若衆三人が、御前で加勢鳥を披露。御殿では新しい手桶と柄杓で加勢鳥に水をかけ、酒と銭一貫文でねぎらいました。一方の町方加勢は、十五日、周辺部の各村から集まった若衆が、商家の連なる町中の門々を歩き回り、出迎える町の若衆は裸になって手桶の水を争うようにかけ、町人たちは火伏せや商売繁盛を祈願してご祝儀を出し、酒や切り餅を振る舞いました。

加勢鳥と取りまく人々

カッカッカッカー
カッカッカー

ケンダイ

ワラで編まれたもので、重さは4～6キログラム、水を含むと10～12キログラムになります。

幟（のぼり）

雪草鞋

民俗行事「加勢鳥」を支える人々

明治時代、加勢鳥は旧藩時代に重要視された行事として廃止されますが、昭和三十四年に有志が集い、復活させます。昭和六十一年には上山市民俗行事「加勢鳥」保存会が結成され、上山に伝わる貴重な民俗行事が継承されています。

「どんぷ」と呼ばれる道具で編みあげる加勢鳥がかぶる「ケンダイ」は、楢下宿で長年製作してこられた故遠藤章男さんから技術を継承した会員が手作りし、加勢鳥が履く草鞋は、楢下宿の遠藤宰吉さんが一つひとつ手作りしています。他にも、笛や太鼓でお囃子をにぎやかに奏でる上山火勢太鼓振興会など、民俗行事加勢鳥は大勢の方に支えられています。

ぜにさしかご
銭さし籠
ご祝儀が入れられます。古峯神社の火伏せの御札が用意されています。